



2012年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2012年1月10日

上場会社名 ローツェ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 6323 URL <http://www.rorze.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 崎谷 文雄
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 橋本 勲 (TEL) 084-960-0001
 四半期報告書提出予定日 2012年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2012年2月期第3四半期の連結業績 (2011年3月1日～2011年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2012年2月期第3四半期	7,811	△1.1	504	△34.6	619	△18.8	338	△31.5
2011年2月期第3四半期	7,896	343.0	771	—	763	—	494	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2012年2月期第3四半期	20	17	19	72
2011年2月期第3四半期	29	46	28	86

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2012年2月期第3四半期	15,506		7,507		41.5	382	31	
2011年2月期	15,571		7,566		41.7	386	31	

(参考) 自己資本 2012年2月期第3四半期 6,428百万円 2011年2月期 6,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2011年2月期	—	0 00	—	2 00	2 00	—
2012年2月期	—	0 00	—	—	—	—
2012年2月期(予想)	—	—	—	3 00	3 00	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 2012年2月期の連結業績予想 (2011年3月1日～2012年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,260	△6.6	640	△44.7	586	△43.7	292	△52.4	17	39

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2012年2月期3Q	17,640,000株	2011年2月期	17,640,000株
2012年2月期3Q	826,218株	2011年2月期	850,218株
2012年2月期3Q	16,801,142株	2011年2月期3Q	16,789,805株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や原発事故の発生から復興・回復に向かいつつありましたが、欧州の財政危機や米国の景気停滞の影響による円高、株安、デフレ経済の長期化が懸念される中、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末などの需要が拡大する一方、パソコン販売の伸び悩みや液晶テレビ販売の落ち込みにより、半導体や大型液晶パネルの価格下落が続き、これらの生産に必要な製造装置への新規設備投資も減少傾向となりました。

このような状況の中で当社グループは、国内、台湾、韓国等の主要取引先とのウエハ搬送装置やガラス基板搬送装置、ガラスカッティングマシン(GCM)などの受注及び販売に努めましたが、設備投資の減少傾向が強まる中、連結売上高は前年同期に比べて若干下回りました。一方、かつてない円高による厳しい事業環境の中、米国大手ファンドリメーカーからウエハ搬送装置の受注を獲得し納入するなど、取引拡大をはかることができました。

損益面につきましては、国内の販売が増加した一方で、円高の影響により、海外における受注獲得競争の激化や、新規開発を伴う装置の受注対応の増加等により依然として厳しい状況が続きました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高7,811百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益504百万円(前年同期比34.6%減)、経常利益619百万円(前年同期比18.8%減)、四半期純利益338百万円(前年同期比31.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円減少し、15,506百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少91百万円、受取手形及び売掛金の増加269百万円及び減価償却費の計上等による有形固定資産の減少257百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、7,998百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少36百万円、短期借入金の増加115百万円及び未払法人税等の減少58百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ58百万円減少し、7,507百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加307百万円及び為替換算調整勘定の減少342百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2012年2月期の通期業績予想につきましては、2011年10月7日発表の「2012年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ445千円、税金等調整前四半期純利益は9,292千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は18,134千円であります。

② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (2011年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2011年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,825,605	1,917,529
受取手形及び売掛金	3,198,851	2,928,988
商品及び製品	344,307	480,530
仕掛品	2,431,660	2,306,405
原材料及び貯蔵品	1,415,503	1,264,808
繰延税金資産	164,403	176,519
その他	143,732	170,491
貸倒引当金	△45,415	△42,575
流動資産合計	9,478,647	9,202,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,227,570	2,374,128
土地	2,300,151	2,330,639
その他(純額)	537,714	618,307
有形固定資産合計	5,065,436	5,323,075
無形固定資産		
投資その他の資産	203,214	239,529
投資有価証券	258,694	283,174
繰延税金資産	307,797	304,897
その他	193,128	219,721
貸倒引当金	△810	△1,468
投資その他の資産合計	758,810	806,326
固定資産合計	6,027,460	6,368,931
資産合計	15,506,108	15,571,630

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (2011年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2011年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,047,989	1,084,679
短期借入金	3,372,220	3,256,282
未払法人税等	60,886	119,379
賞与引当金	114,664	46,211
役員賞与引当金	4,500	—
製品保証引当金	259,234	237,153
その他	731,231	845,191
流動負債合計	5,590,726	5,588,897
固定負債		
長期借入金	1,966,825	1,991,123
繰延税金負債	65,957	58,262
退職給付引当金	42,199	48,182
役員退職慰労引当金	311,232	314,183
資産除去債務	18,390	—
その他	3,069	4,675
固定負債合計	2,407,675	2,416,426
負債合計	7,998,401	8,005,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	982,775	982,775
資本剰余金	1,129,941	1,127,755
利益剰余金	6,274,178	5,966,896
自己株式	△123,012	△126,585
株主資本合計	8,263,882	7,950,840
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,849	33,968
為替換算調整勘定	△1,841,620	△1,498,723
評価・換算差額等合計	△1,835,770	△1,464,754
新株予約権	30,622	27,755
少数株主持分	1,048,972	1,052,465
純資産合計	7,507,706	7,566,306
負債純資産合計	15,506,108	15,571,630

(2) 四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2010年3月1日 至2010年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2011年3月1日 至2011年11月30日)
売上高	7,896,181	7,811,761
売上原価	5,813,333	5,850,850
売上総利益	2,082,847	1,960,911
販売費及び一般管理費	1,311,426	1,456,177
営業利益	771,420	504,734
営業外収益		
受取利息	6,874	7,510
受取配当金	1,588	115
為替差益	—	130,653
補助金収入	61,206	10,034
その他	12,942	8,603
営業外収益合計	82,612	156,917
営業外費用		
支払利息	43,130	36,887
為替差損	42,392	—
その他	4,953	4,824
営業外費用合計	90,476	41,712
経常利益	763,556	619,939
特別利益		
有形固定資産売却益	173	1,667
投資有価証券売却益	5,681	312
関係会社株式売却益	32,302	—
持分変動利益	13,488	—
新株予約権戻入益	—	854
特別利益合計	51,646	2,833
特別損失		
有形固定資産売却損	—	1,286
有形固定資産除却損	740	1,486
投資有価証券売却損	27,211	4,721
ゴルフ会員権評価損	2,996	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,847
特別損失合計	30,948	16,341
税金等調整前四半期純利益	784,254	606,431
法人税、住民税及び事業税	140,283	221,332
法人税等調整額	32,104	△56,062
法人税等合計	172,388	165,270
少数株主損益調整前四半期純利益	—	441,160
少数株主利益	117,234	102,349
四半期純利益	494,632	338,811

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社グループは、無塵化対応搬送用ロボットやその応用装置を開発・製造・販売している単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては品目別に記載しております。

(1) 生産実績

品目別	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ウエハ搬送機	4,481,607	100.3
ガラス基板搬送機	1,269,952	88.5
バイオ・ゲノム関連装置	10,741	15.0
モータ制御機器	49,064	84.2
合計	5,811,366	96.4

(注) 1 金額は、製造原価によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

モータ制御機器については見込生産によっておりますが、ウエハ搬送機、ガラス基板搬送機、及びバイオ・ゲノム関連装置につきましては、受注生産を行っております。

ウエハ搬送機、ガラス基板搬送機、及びバイオ・ゲノム関連装置の受注実績は次のとおりであります。

品目別	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ウエハ搬送機	4,484,153	73.7	2,077,902	74.1
ガラス基板搬送機	1,741,551	61.5	117,733	17.3
バイオ・ゲノム関連装置	4,500	21.1	—	—
合計	6,230,204	69.7	2,195,636	62.9

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

品目別	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ウエハ搬送機	4,611,658	99.4
ガラス基板搬送機	2,039,101	88.1
バイオ・ゲノム関連装置	4,500	30.3
モータ制御機器	60,345	71.3
部品・修理 他	1,084,051	130.7
商品	12,106	76.4
合計	7,811,761	98.9

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
Samsung Mobile Display Co., Ltd.	—	—	966,098	12.4
三星電子(株)	1,969,373	24.9	929,714	11.9

(注) Samsung Mobile Display Co., Ltd.に対する前第3四半期連結累計期間の売上高は、113,475千円(総販売実績に対する割合1.4%)であります。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。